

特集 突然の豪雨

年々増加する降水量
それによって引き起こされる数々の災害。
災害から命を守るために何をすればいいのか。
どう対処すればいいのか。

近 年、ゲリラ豪雨と呼ばれる短時間で集中的に降る雨によって全国各地で洪水、あるいは土砂災害といった被害が頻発しています。菰野町も例外ではなく、昔から多くの水害、土砂災害に悩まされてきました。では、実際に豪雨による災害が起こったとき、住民全員がすぐさま避難すればよいのでしょうか。突然の豪雨が引き起こす災害への対処方法を菰野町の現状を踏まえてお伝えします。



平成20年豪雨
道路の崩落で露出した水道管↑



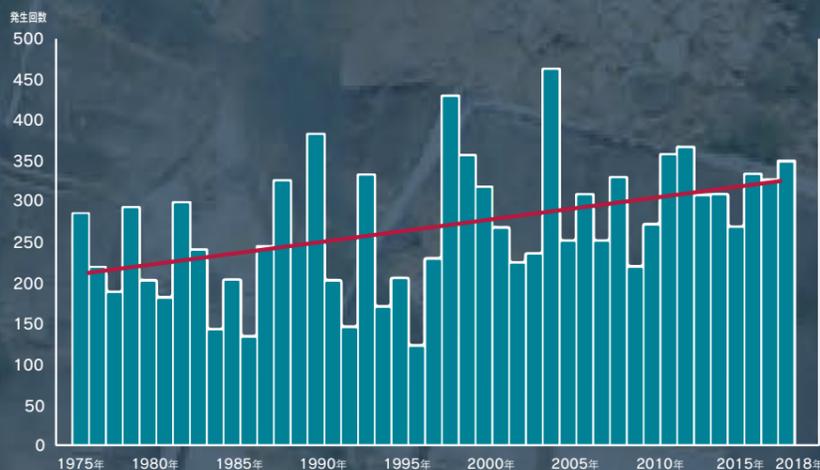
平成20年豪雨
田光川の増水により崩落した道路↑
湯の山温泉街を濁流となり押し寄せ三滝川→

降水量の増加に注意

全 国的に1時間降水量50mm以上の降雨の年間発生回数

は、徐々に増加しています。それを裏付けるように、平成30年西日本豪雨、平成29年九州北部豪雨、平成28年台風10号、平成27年関東・東北豪雨、平成26年広島土砂災害など、過去5年間を見ても毎年大規模な水害や土砂災害が発生し、多くの方が亡くなっています。近年、町では大規模な洪水や土砂災害による被害が発生していませんが、全国的な降水量の増加傾向から見ても、いつ大きな災害が起こってもおかしくない状況にあると考えられます。では、そんな被害が予想されるとき、どのような準備が必要なのでしょうか。

1時間降水量 50mm以上の降雨 年間発生回数



棒グラフは各年の50mm以上の降雨年間発生回数を示し、直線(赤)は長期変化傾向(この期間の平均的な変化傾向)を示しています。

参 気象庁 アメダス 考 (全国1300地点で観測したデータ)

そのときあなたはどのようにする？

まずは情報を得ることから

大 雨による災害が予想されるとき、まずは災害のレベルや避難の必要性を判断することが重要です。昨年7月の西日本豪雨では、気象庁や自治体から出されたさまざまな情報が住民の避難行動に必ずしも結びつかず、死者・行方不明者あわせて273名の甚大な豪雨災害となりました。「災害に関する情報が多種多様で分か

りにくい」との指摘を受け、政府は令和元年5月末から大雨による災害が発生する危険度と住民に求められる行動を5段階のレベルで示す「警戒レベル」の導入を開始させています。危険度の最も高い警戒レベル5では、すでに災害が発生している状況が想定され避難が困難となるため、住民はレベル3、レベル4のうちに避難を終え、安全を確保するように求められています。レベル3とは自治体が「避難準備・

高齢者等避難開始」を発令する状況を指し、自力での迅速な避難が難しい高齢者などは、この段階での避難が必要となります。レベル4は自治体から「避難勧告」や「避難指示」が発令される状況を指し、対象となった区域の住民全員が避難を開始し「完了」しなければなりません。このような「警戒レベル」の導入に加えて、町では洪水浸水被害想定図と土砂災害マップのそれぞれの想定に基づいた対処を求めています。

知識をもって 対処方法を検討する

まずは自分の住んでいる地域が洪水で浸水するのか、土砂災害の危険があるのかを知り、リスクに応じた対応方法を検討することが大切です。災害時には一人ひとりにきめ細かな情報をお伝えすることは困難です。自分や命は自分の知識と判断で守りましょう。

総務課安全安心対策室 防災担当
小川 峻 Ogawa Shun



メールなどで最新情報を確認



警報や避難所の開設状況などの最新情報は菰野町行政情報メールなどで確認できます。

- ▶ 菰野町行政情報メール
- ▶ 防災ラジオ
- ※ 防災ラジオは緊急時に自動起動しますので、電源コードをつなぐか、乾電池を入れている状態にしておいてください。

警戒レベルを確認

警戒レベル	災害情報	とるべき行動
警戒レベル1	早期注意情報	防災気象情報等の最新情報入手し、災害への心構えを高める。
警戒レベル2	注意報	ハザードマップなどで避難場所やそこまでの経路を確認し、避難に備える。
警戒レベル3	避難準備・高齢者等避難開始	高齢者や障がい者など避難に時間のかかる方は避難を始める。その他の方も避難準備を進める。
警戒レベル4	避難勧告 避難指示(緊急)	立ち退き避難をする必要のある方は立ち退き避難をする。困難な場合は安全な場所へ移動。
警戒レベル5	災害発生情報	既に災害が発生している状況。自らの判断で命を守る最善の行動をとる必要がある。

避難所を確認

犬 緊急避難所(指定緊急避難場所)

緊急に避難しなければならない場合に、一時的に避難する近隣の施設(地域で管理しており、緊急時にすぐに開放できる施設)
▶ 各区公会所など

犬 風水害時 緊急避難所補完施設

緊急避難所で受け入れできない避難者およびキャンプ場宿泊者を受け入れする場合に利用する施設
▶ 菰野・朝上・千種地区コミュニティセンター

犬 収容避難所(指定避難所)

災害により住居を失った方などが長期的に避難する施設(町等が所有する施設で、ある程度の人員を長期間収容できる施設)
▶ B&G 海洋センター ▶ 各小学校
▶ 各中学校 ▶ 菰野高校

犬 福祉避難所

収容避難所での生活が困難な高齢者や障がい者の方などが避難する施設(必要に応じて開設する施設)
▶ グループホーム ゆのやま ▶ 菰野聖十字の家
▶ 菰野千草園 ▶ 菰野町保健福祉センターけやき
▶ 菰野陽気園 ▶ JA あいけあセンター
▶ 聖十字ハイツ ▶ 檜の里 あさけ学園
▶ 湯の山介護老人保健施設 ▶ 老人福祉施設組合 みずほ寮
▶ 老人保健施設 友愛トピア